

キッズシネマ塾

市の歴史や文化をテーマに、撮影や俳優など、子どもたちが主役になって、草津が舞台の映画を制作します。

講師：中島貞夫さん(映画監督)

🕒 11月9日(土)、10日(日)(全2回) 9:00~16:30

📍 三大神社(志那町)ほか

👤 市内在住の小学5、6年生

👥 20人(先着順) ¥1,500円

📅 10月4日(金)~25日(金)

📞 申・問 生涯学習課(6階) ☎561-2428、FAX561-2488

水生植物公園

みずの森

〒525-0001下物町1091

☎568-2332、FAX568-0955

開園時間 9:00~17:00

草津宿街道交流館開館20周年記念展(民俗編)

「くさつを彩る舞〜風流踊りの系譜〜」

草津宿街道交流館は今年で開館20周年。これを記念して、今年度は3つの20周年特別展示を開催します。第2弾は民俗編。日本遺産にも登録された草津のサンヤレ踊りをはじめ、上笠天満宮講踊・渋川の花踊りなど、市内に残る民俗芸能について紹介します。

🕒 10月5日(土)~11月17日(日) 9:00~17:00

※11月1日(金)、2日(土)は20:30まで開館延長 ※月曜日休館(祝日の場合は翌日)

🎫 入館料

📅 学芸員による展示解説会 10月5日(土)、11月3日(日・祝) 14:30~

📍 問 草津宿街道交流館(草津三) ☎567-0030、FAX567-0031

くさつ 歴史ギャラリー 144

問 草津宿街道交流館(草津三)
☎567-0030、FAX567-0031

『木綿地雲龍文様筒描染刺繍着付長着』 ~地域に残るサンヤレ踊りの歴史~

草津市には、中世に流行した風流踊りの系譜を引くとされる民俗芸能が多く伝承されています。特に、「サンヤレ」というかけ声で知られる「サンヤレ踊り」は、市内の矢倉・下笠・片岡・長東・志那・吉田・志那中の7地域で、現在も踊り続けられています。「サンヤレ踊り」という同じ名前を持ちますが、各地域で、その衣装や歌、踊りの所作などは異なります。

サンヤレ踊りがいつ頃から草津で踊られているのか、正確なことは分かっていません。しかし、矢倉や下笠、吉田、志那などの地域には、サンヤレ踊りの古衣装が残されており、その歴史を現在まで伝えていきます。

これは、下笠に残されているサンヤレ踊りの衣装で、白木綿地に筒描糊染で裾に波、背後に龍を染め出した長着です。1859(安政6)年3月の銘文が残り、江戸時代末期のものであるということが分かります。

太さや細さ、強弱の抑揚を使い分けた巧みな糸目糊置で、藍臙と臙脂、雌黄、墨の顔料で青、赤、萌葱、橙、茶、黒色の挿し彩

▶ 木綿地雲龍文様筒描染刺繍着付長着 (下笠サンヤレ踊り保存会蔵)



色をしています。また、刺繍にも、駒繡や黒と銀の糸をより合わせた李糸使い、萌葱、白、紅の平糸の渡し繡などのさまざまな技法が使われています。

この長着は「鼓」役が着る衣装です。現在でも、「下笠のサンヤレ踊り」では、鼓役が同様の雲龍文様の長着を着て、纏綿の裁着袴をはき、頭には花笠を被ります。現在の衣装は、この古衣装に倣って作られたものだと考えられます。

この衣装は10月5日から草津宿街道交流館で開催する「草津宿街道交流館開館20周年記念展民俗編 くさつを彩る舞〜風流踊りの系譜〜」で展示します。ぜひご覧ください。

8月31日現在(対前月比) 人口134,735人(+43) 男67,658人(+51) 女67,077人(-8) 世帯数59,245世帯(+61)



広報くさつ・くさつ市議会だよりは、スマートフォン用アプリでも配信中

